

消費増税後初のボーナス 増税前後よりは財布の紐ゆるむ？ 夏のボーナスの使い方、節約を意識する人は約4割 全国の会社員980名に対し、夏のボーナスに関する意識調査を実施

コミュニケーションデザイン総合研究所は、全国の会社員※男女980名に対し、「2014年夏のボーナスに関する意識調査」を実施しました。調査結果から“消費増税後初の支給となるボーナスに対する意識”や“使い道”が明らかになりました。

※会社勤務(一般社員、管理職)、派遣社員、契約社員

コミュニケーションデザイン総合研究所が行った調査から、次のことがわかりました。

1. 今夏のボーナスの使い方は「節約を意識する」と答えた人は39.5%にとどまる。
2. 使い道として考えていることは「旅行」が42.6%で圧倒的首位。
3. 使う予定の額は「6～10万円」「11～20万円」が約2割ずつ。
4. 「ボーナスの金額を誰にも教えない人」は55.1%。

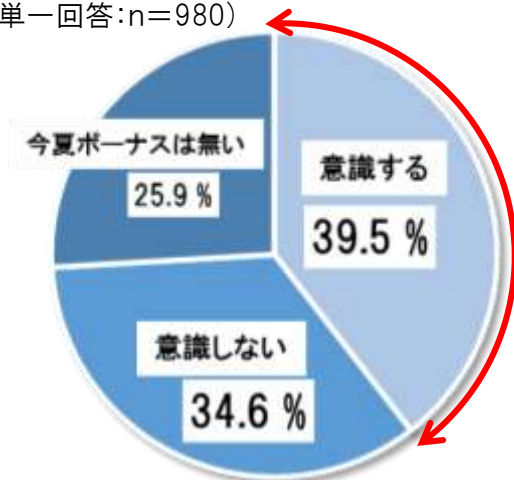
【調査結果詳細】

1. ボーナスの使い方は「節約を意識する」と回答した人は39.5%にとどまった。当研究所が消費増税直前の今年1月に実施した調査では「増税後、節約を意識する」と回答した人が78.7%であった。

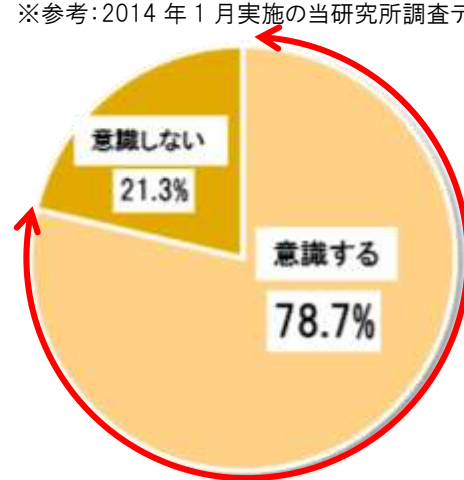
「前回(2013年冬のボーナス)と比べ、今夏のボーナスの使い道は節約を意識しますか」という質問に対し、「意識する」と回答した人は約4割でした。増税直前の意識と比べると、節約意識は低いようです。一方で、「今夏のボーナスはない」と回答した人は26.9%でした。

具体的な節約の仕方としては、「買い物を控える(71.6%)」「貯金する割合を増やす(56.1%)」等が挙げられました。

◆前回(2013年冬のボーナス)と比べ、
今夏のボーナスの使い方は節約を意識しますか？
(単一回答:n=980)



◆増税後、節約を意識しますか？
(単一回答:n=300)
※参考:2014年1月実施の当研究所調査データより



【本件に関するお問い合わせや調査の掲載をご希望の場合は、下記までご連絡ください】

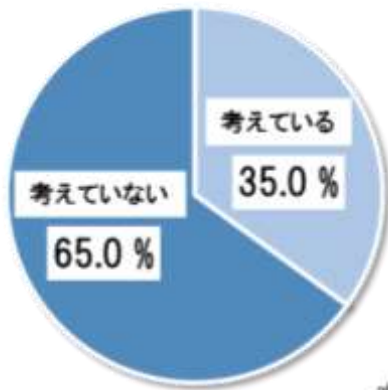
コミュニケーションデザイン総合研究所 担当:岩淵・牛尾

MAIL:iwabuchi@cd-j.net TEL:03-5545-1661 / FAX:03-5545-1662

2. ボーナスの使い道を考えている人は3割強。具体的な使い道は「旅行(42.6%)」が圧倒的首位。

「夏のボーナスの使い道を考えていますか？」という質問に対し、「考えている」と回答した人は35%でした。また、その使い道で最も多く使うことが「貯金」「投資」以外だった人(n=115)に具体的な使い道を尋ねたところ、圧倒的首位は「旅行(42.6%)」となりました。

◆夏のボーナスの使い道を考えていますか？
(単一回答:n=726)



◆具体的に何に使う予定ですか？(複数回答:n=115)



3. 貯金を除いて、使う予定の額は「6～10万円」と「11～20万円」が多く約2割ずつ。

使い道を考えていると回答した人に、貯金を除いて使う予定の金額を尋ねたところ、「6～10万円(20.1%)」が最も多く、次いで「11万円～20万円(18.1%)」となりました。その後「1～3万円(15.4%)」、「4～5万円(12.2%)」が続く。一方で40万円以上と回答している人も1割強居り、二極化が見られます。

◆貯金を除いて、使う予定の金額はいくら位ですか？(単一回答:n=257)



【本件に関するお問い合わせや調査の掲載をご希望の場合は、下記までご連絡ください】

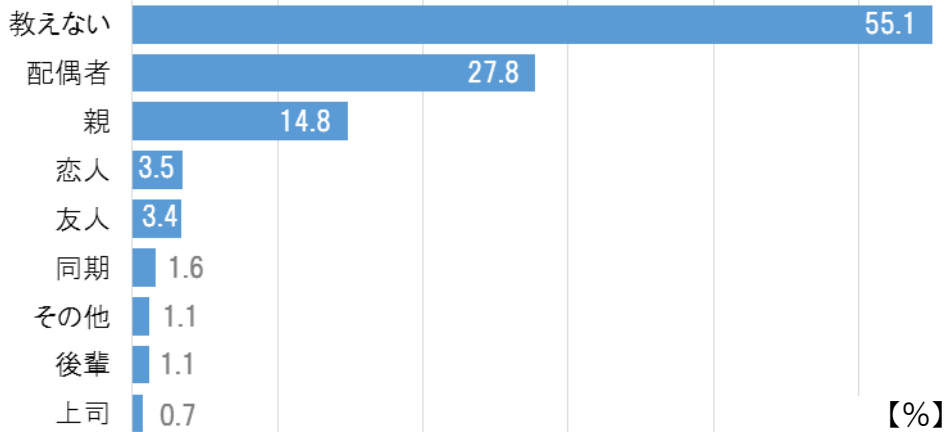
コミュニケーションデザイン総合研究所 担当:岩淵・牛尾

MAIL:iwabuchi@cd-j.net TEL:03-5545-1661 / FAX:03-5545-1662

4. 「ボーナスの金額を誰にも教えない人」が 55.1%。教える相手で最も多いのは「配偶者」。

「ボーナスの金額を自分以外に教えますか？」という質問に対し、「教えない」と答えた人は55.1%でした。教える人で最も多い相手は「配偶者(27.8%)」、「親(14.8%)」となりました。

◆ボーナスの金額を、自分以外の誰に教えますか？(複数回答:n=257)



<調査概要>

調査内容：夏のボーナスに関する意識調査
 調査方法：インターネット調査
 調査期間：2014年5月17日～5月18日
 調査対象：全国の会社員(一般社員、管理職、派遣社員、契約社員)
 調査サンプル数：980名

※当研究所が1月に実施した調査の概要

調査名：増税前の駆け込み需要に関する調査
 調査方法：インターネット調査
 調査期間：2014年1月22日～1月23日
 調査対象：成人男女
 調査サンプル数：300名

<調査主体:コミュニケーションデザイン総合研究所> <http://www.cd-s.info>

株式会社コミュニケーションデザイン(東京都港区、代表取締役社長:玉木剛)内に設置。

ユニークな視点に立った独自の調査・研究を行い、その結果を公開することにより、世の中に「気付き」や「新しい価値基準」を提供。企業活動や消費者がより豊かな生活をおくる事に寄与することを目的としている。

※報道目的のデータの利用は自由ですが、必ず「コミュニケーションデザイン総合研究所調べ」などと明記してください。またその際は下記お問い合わせ先までご一報いただくと幸いです。

【本件に関するお問い合わせや調査の掲載をご希望の場合は、下記までご連絡ください】

コミュニケーションデザイン総合研究所 担当:岩淵・牛尾

MAIL:iwabuchi@cd-j.net TEL:03-5545-1661 / FAX:03-5545-1662